

新規上場にも力を入れる 利便性向上、活性化も進める

全国各地で賀詞交歓会

横浜から福岡まで、全国各地の商品取引所が1月6日から14日にかけて、新年賀詞交歓会を開き、今年の抱負、展望を示した。いずれも新規上場にも力を入れることが共通している。しかも、物にこだわることなく、幅広い視点から、デリバティブ(金融派生商品)も含め、検討、研究する。また、手数料自由化で業界変革を迫られる中で、既存商品についてもさらなる利便性の向上、活性化を進めるとの挨拶が多かった。

新規商品が伸びる 大阪、関西商取

大阪商品取引所と関西商取同友会代表幹事、木下健太郎氏(大阪商取)が挨拶した。村田文男大阪商品取引所理事長に続いて岩村信関西商品取引所理事長が挨拶。近畿経済産業局と近畿農政局を代表して太島武司近畿経済産業振興部長が挨拶した。

次いで、両理事長、岡本昭大



大阪・関西商取(1月6日)

石油市場の利便性を向上

中部商取

中部商品取引所は1月9日正午から、名古屋市中区の名古屋国際ホテルの2階老松若竹の間で、平成15年の新春賀詞交歓会を開いた。行政、関係団体、同取引所会員などおよそ140人が出席し、懇談の花を咲かせた。

伊藤禮史理事長が挨拶。続いて、大道正夫中部経済産業局長の来賓挨拶があり、染英昭東海農政局長の発声で乾杯し、懇談に移った。大石俊司中部商取協会会長の手締めで、にぎわう懇談の幕を閉じた。

伊藤理事長の挨拶
委託手数料の自由化等に

各界の140人出席 商品投資販売業協会新春懇親会



(社)日本商品投資販売業協会通称フロンティア協会、会長藤木内丸、丸の内銀行協会の15日、東京丸の内ビルで新春懇親会を開いた。冒頭、藤木会長は「商品フロンティアは厳しい状況にある。このような時こそチャレンジャー精神でがんばって欲しい」と挨拶。次いで、副会長花輪俊哉一橋大学名誉教授の乾杯の後、懇談に入った。

阪三協協会会長、関西商取同友会代表幹事、木下健太郎氏(大阪商取)が挨拶した。村田文男大阪商品取引所理事長に続いて岩村信関西商品取引所理事長が挨拶。近畿経済産業局と近畿農政局を代表して太島武司近畿経済産業振興部長が挨拶した。

次いで、両理事長、岡本昭大

助関西商取同友会幹事による鏡開きのあと、岡本氏の発声で乾杯、懇談が始まった。村田理事長の挨拶

昨年はゴムゴム指数取引が伸び、年間出来高が前年比およそ60%増加した。9月にはニッケルを上場し、アルミニウムと併せて非鉄金属総合市場に向けての整備も進んだ。既存市場の活性化に力を注ぎ、幅広い視点から新商品を検討する。

岩村理事長の挨拶

昨年は開所50周年にあたり、



横浜商取(1月14日)

市場基盤を整備

福岡商取

福岡商品取引所は1月10日、午後5時半から、福岡市中央区のホテルニューオータニ博多の4階鶴の間で、平成15年の新年互礼会を開いた。地元関係団体、同取引所会員などおよそ170人が出席し、新年を祝った。

互礼会では、まず中村光弘

保彦オリックス社長)は1月15日、東京丸の内銀行協会ビルで新春懇親会を開いた。冒頭、藤木会長は「商品フロンティアは厳しい状況にある。このような時こそチャレンジャー精神でがんばって欲しい」と挨拶。次いで、副会長花輪俊哉一橋大学名誉教授の乾杯の後、懇談に入った。

「厳しい経済状況、緊張が続く国際情勢は商品先物取引からみればマイナス要因ではない。全国の商品取引所の昨年の出来高の好調がそれを裏証している。横浜商取にとっても昨年は、出来高の大幅増、日本初のドル建て取引開始という2つの良い事があった。やっとなら、今年も二段目のロケットに火を付け、さらに上昇する」と強調した。

日経新聞朝刊に注目! 毎週木曜の国際面に掲載

<p>確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ㉕</p> <p>申告分離課税の継続や損失の繰越控除など、税制面でも市場参加者の大きなメリットとなるよう、二層の利便性を追求しています。</p> <p>日本商品先物振興協会 会長 井野 智子さん 「チャンス、チャレンジ、チェンジ」</p>	<p>確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ㉔</p> <p>参加しやすい市場環境づくりなど、利便性を向上させるための施策を積極的に打ち出し、実行しています。</p> <p>日本商品先物振興協会 会長 川瀬 達也さん 「未来は先物取引の中に」</p>	<p>確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ㉓</p> <p>商品ファンドでも運用される商品先物取引。市場の多様性に、機関投資家は、もっと注目してほしいですね。</p> <p>日本商品先物振興協会 調査部長 渡辺 勝方さん 「先物の賢い投資術」</p>	<p>確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ㉒</p> <p>身近な食品として、ジャガイモに続き冷凍エビが上場しました。生活に密着した商品の価格安定に果たす先物市場の役割に期待します。</p> <p>日本商品先物振興協会 調査部長 山田 芳文さん 「新規銘柄、上場ラッシュ、先物時代の到来」</p>	<p>確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ㉑</p> <p>インターネット取引は手数料が自由化されています。マイペースでできるのもうれしいですね。</p> <p>日本商品先物振興協会 調査部長 長澤 正弘さん 「みんなが知っている、未来型のトレード」</p>
<p>第25回 7月11日</p> <p>確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ㉞</p> <p>委託手数料の完全自由化は顧客サービスの向上につながるものと期待しています。そのための競争は大歓迎ですね。</p> <p>日本商品先物振興協会 会長 藤堂 淳史さん 「いま、商品取引を、個人の力に」</p>	<p>第24回 7月4日</p> <p>確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ㉟</p> <p>経済のグローバル化が進む今、日本の先物市場も国際水準の利便性を確保するための努力をさらに続けていきたいと思います。</p> <p>日本商品先物振興協会 会長 相馬 満さん 「世界を牽引 日本の商品先物」</p>	<p>第23回 6月27日</p> <p>確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ㊱</p> <p>多様化する投資家ニーズに、どれだけの利便性で、商品先物取引は応えられるか。顧客の代表として注目していきたいですね。</p> <p>日本商品先物振興協会 調査部長 平沢 美由紀さん 「あなたの感性が明日への道しるべ!」</p>	<p>第22回 6月20日</p> <p>確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ㊲</p> <p>オンライン取引の進展により、ホットな情報が得られるなど、初めての方も参加しやすい取引環境になってきましたね。</p> <p>日本商品先物振興協会 調査部長 杉浦 宏一さん 「脇役から主役へ」</p>	<p>第21回 6月13日</p> <p>確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ㊳</p> <p>税制改正の推進や、投資家の視点から利便性を追求する動きが目立ってきましたね。</p> <p>日本商品先物振興協会 調査部長 上川 龍太郎さん 「未来を変える商品取引」</p>